



7月のタイ経済は改善傾向

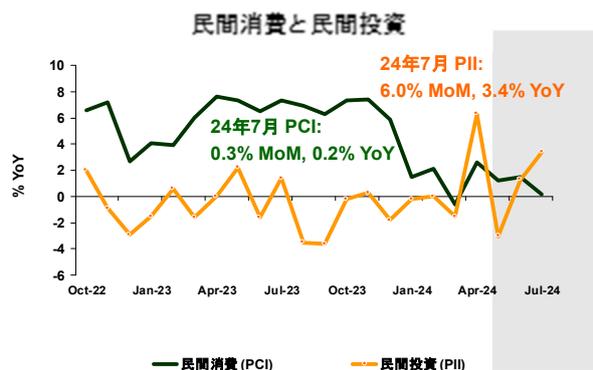
要点

- 2024年7月のタイ経済は改善しました。ほぼすべての経済部門で成長がみられています。主な要因として、外国人観光客の拡大に伴う観光収入の増加のほか、輸出と製造業の回復が後押ししました。
- 2024年8月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比0.35%上昇しましたが、前月からは下落しています。一方で、振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比0.62%上昇と、前月から加速がみられています。
- カシコンリサーチセンターは、2024年のタイ金融機関の融資伸び率が前年比1.5%になると予測します。事業融資の伸び率は1.5%で全体をけん引する一方、消費者融資は0.3%になる見通しです。
- 低調な経済成長と連動し、個人向けローンの伸びが鈍化しています。消費者の購買力低下に加え、中国の電気自動車メーカーによる価格の引き下げを見越した買い控えも発生しており、自動車ローンの縮小が顕著です。その状況は、下半期も改善しないとみえています。

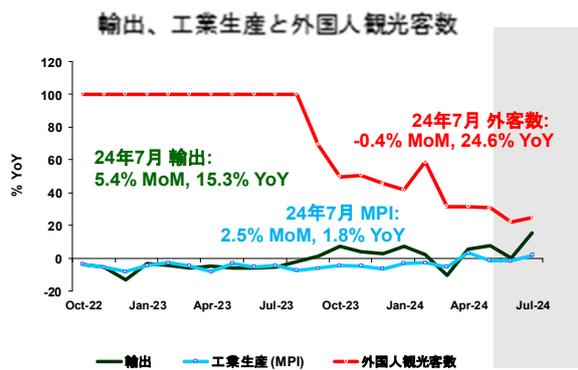
タイ経済の動向

□ 2024年7月のタイ経済情報

タイ中央銀行が発表した2024年7月の重要な経済指標によると、ほぼすべての経済部門で成長がみられています。主な要因として、外国人観光客の拡大に伴う観光収入の増加のほか、輸出と製造業の回復が後押ししました。



出所: BoT, Ministry of Industry, Ministry of Tourism and Sports



備考: YoY = 前年比; MoM = 前月比

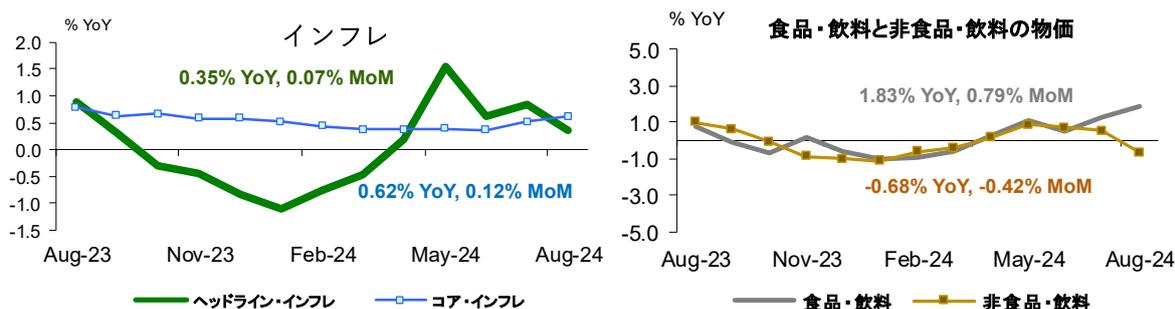
7月の民間消費は前年同月比0.2%増となりました。耐久・準耐久消費財の消費が回復したものの、衣類などの非耐久財の消費は低迷しました。

一方で、民間投資は、前年同月比3.4%増になりました。資本財の輸入が増えたほか、機械や設備の国内販売も伸びています。

7月の輸出は、前年同月比15.3%増の256億米ドルとなりました。欧州やマレーシア向けの集積回路、台湾や香港向けのコンピューターが軒並み増加しました。農産物においても、インド向けのベジタブルオイルや中国向けのゴムが伸びています。

工業生産に関しては、前年同月比1.8%増加しました。自動車業界で中東の地政学的なリスクの緩和に備えた活発な動きがみられます。また、ゴム業界も輸出拡大の恩恵を受けています。

一方で、外国人観光客の伸びが前年同月比24.6%増と、前月に比べ加速しています。



出所: MoC, KResearch

商務省が発表した2024年8月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比0.35%上昇しましたが、前月からは下落しました。一方で、振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比0.62%上昇と、前月から加速がみられています。

食品・飲料部門は1.83%上昇しました。果物・野菜が6.14%、米・粉製品が3.12%、卵・乳製品は1.67%、それぞれ上昇しましたが、肉・魚は1.16%の下落となっています。一方で、非食品・飲料部門は0.68%低下しました。

2024年のタイ金融機関の融資伸び率は1.5%になる見通し

カシコンリサーチセンターは、2024年のタイ金融機関の融資伸び率が前年比1.5%になると予測します。事業融資の伸び率は1.5%で全体をけん引する一方、消費者融資は0.3%になる見通しです。

低調な経済成長と連動し、個人向けローンの伸びが鈍化しています。消費者の購買力低下に加え、中国の電気自動車メーカーによる価格の引き下げを見越して買い控えが発生しているため、自動車ローンの縮小が顕著です。その状況は、下半期も改善しないとみえています。

今年の自動車ローンは5.5%縮小すると予測します。一方で、住宅ローンとクレジットカード、個人ローンは、それぞれ1.2%、2.2%、3%成長すると見込んでいます。

監修: カシコンリサーチセンター

本資料は情報提供を唯一の目的としており、ビジネスの判断材料とするものではありません。掲載されている分析・予測等は、資料制作時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、予測の妥当性や正確性が保証されるものでもありませんし、商業ないし何らかの行動の為に採用することから発生した損害の責任を取れるものでもありません。本資料の予測・分析の妥当性等は、独自でご判断ください。